

# 101 コミミズク

(フクロウ目)

兵庫県ランク:B

*Asio flammeus*

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

## 種の概要

北海道、本州、四国、九州では冬鳥。兵庫県では主に10-翌4月に見られる。河川敷、湿原、農耕地、埋立地などの開けた環境に生息する。昼間は草むらの地上で休み、夕方から夜間にネズミ類やモグラ類、コウモリ類、小鳥類などを捕食する。



写真提供:但馬野鳥の会

## 国内分布

北海道、南千島、本州、粟島、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、伊豆諸島、小笠原群島、南鳥島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島

## 県内分布 ( )表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、(姫路市)、明石市、(西宮市)、(伊丹市)、豊岡市、加古川市、(赤穂市)、三木市、(小野市)、南あわじ市、(朝来市)、(たつの市)、香美町



## 主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

## 県内における生息状況およびその他特記事項

CランクからBランクに変更。  
かつては県内各地で単独または数羽の群れが普通に見られた。近年の開発で生息地が減るとともに急減した。現在では個体数は少なく、生息地も非常に限られている。



写真提供:三谷康則

## 保護上の留意点

採餌場所である農耕地周辺、河川敷など、餌となるネズミ類が豊富な広いヨシなどの高茎草地を保全することが重要。